



■弘前れんが倉庫美術館

明治・大正時代に酒造工場として建てられ、戦後はシードル(りんごのお酒)の工場として使用された煉瓦造の建物を改修し、2020年に開館した現代美術館です。奈良美智(ならよしとも)や、ジャン=ミシェル・オトニエルの作品をはじめ、建築や地域に合わせたこの場所ならではのアート作品を展示しています。毎月第三土曜日には、参加無料の建築ガイドツアーを開催。敷地内には、シードル工房が併設されたカフェとミュージアムショップがあります。

© Naoya Hatakeyama

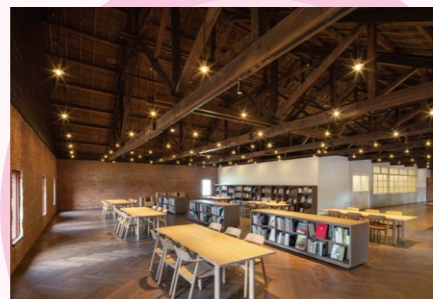
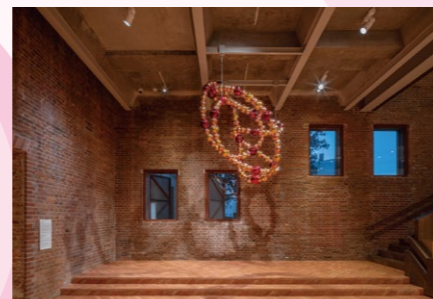


Photo: Kuniya Oyamada



ジャン=ミシェル・オトニエル《エデンの結び目》2020年
Photo: ToLoLo studio



■大正浪漫喫茶室(藤田記念庭園)

藤田記念庭園内にある赤いとんがり屋根が目を引く洋館内のカフェ。大広間とサンルームを利用した窓際が特等席で、大正時代の面影をそのままにゆったりとした時間が過ごせます。



300年の歴史を誇る

「弘前のねぶた」



■重要無形民俗文化財「弘前のねぶた」

津軽の夏の夜空を彩る弘前ねぶたまつりは、毎年8月1日から7日まで開催され、三国志や水滸伝などを題材にした勇壮で色鮮やかな武者絵が描かれた扇ねぶたや組ねぶたが「ヤーヤドー」の掛け声と共に市内を練り歩くまつりです。2022年は、1722年(享保七年)の「弘前藩庁御国日記」に弘前のねぶたが記録に初めて登場してから300年という記念すべき年でした。



■なめかびおくり

岩木川沿いの土手に数台のねぶたが立ち並び、ねぶたを炎で清める「ねぶたおくり」が2023年に4年ぶりに開催されました。立ちのぼる炎でねぶたを清める光景は圧巻です。